



Human Metabolome Technologies, Inc.

2021年6月期第2四半期 決算補足説明資料

2021年2月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

2021年6月期第2四半期 業績サマリー



売上高	537百万円 (前年同期比18%増)
 メタボロミクス事業	国内・海外ともにWEBを中心とした営業活動を展開 営業強化を継続し、全分野での市場拡大に注力
営業利益	2百万円 (前年同期間は△123百万円)
 メタボロミクス事業	売上高増加によりセグメント利益増加
 バイオマーカー事業	PEA(うつ病バイオマーカー) 検査受託の拡大や測定メソッドの開発を 継続する他、新たなパイプラインや関連ビジネスの検討を継続
 全社共通	一般管理費を中心に経費削減に取り組む

(百万円未満切捨て、△は損失)

**メタボロミクス事業の拡大により売上伸長
営業の効率化や一般管理費の削減に取り組む
第2四半期としては初の営業利益を計上**

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

	2020年6月期 第2四半期	2021年6月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	454	537	83	18%
営業利益	△ 123	2	125	-
経常利益	△ 119	△ 2	117	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 118	△ 7	111	-
1株当たり当期純利益	△ 20.26	△ 1.24	-	-

セグメント別実績

セグメント売上高

	2020.6 2Q	2021.6 2Q	増減額
メタボロミクス 事業	453	535	82
バイオマーカー 事業	1	2	1
全社共通	-	-	-
合計	454	537	83

セグメント費用

	2020.6 2Q	2021.6 2Q	増減額
メタボロミクス 事業	325	353	28
バイオマーカー 事業	81	45	△ 36
全社共通	170	135	△ 35
合計	577	535	△ 42

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

営業利益

	2020.6 2Q	2021.6 2Q	増減額
メタボロミクス 事業	127	181	54
バイオマーカー 事業	△ 79	△ 43	36
全社共通	△ 170	△ 135	35
合計	△ 123	2	125

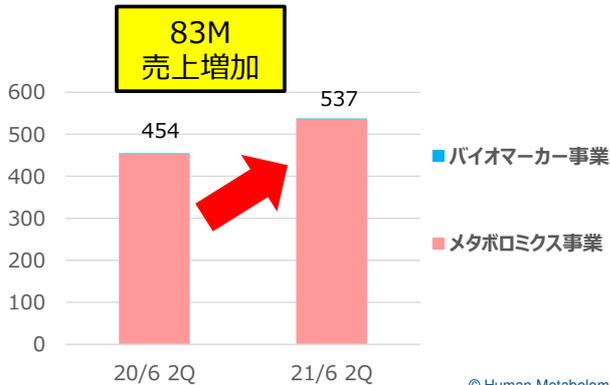
セグメント別実績（売上高）



セグメント売上高

WEB活用した営業活動を展開

	2020.6 2Q	2021.6 2Q	増減額
メタボロミクス事業	453	535	82
バイオマーカー事業	1	2	1
合計	454	537	83

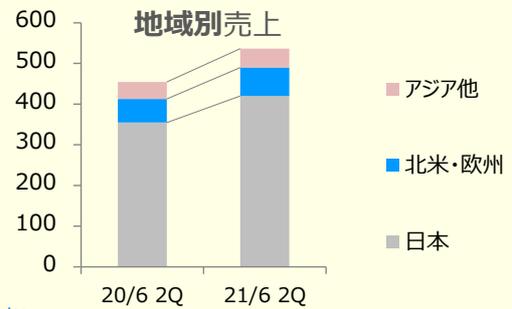
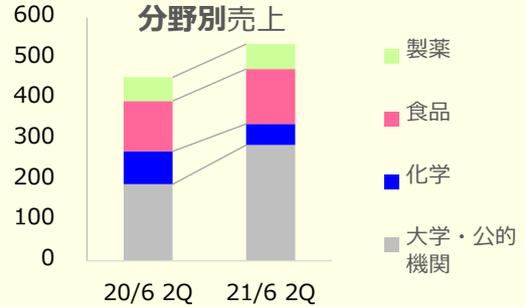


© Human Metabolome Technologies, Inc.

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

メタボロミクス事業売上

- ・国内においてアカデミア分野を中心に増加
- ・海外において米国製薬分野を中心に増加



5

セグメント別実績（費用）

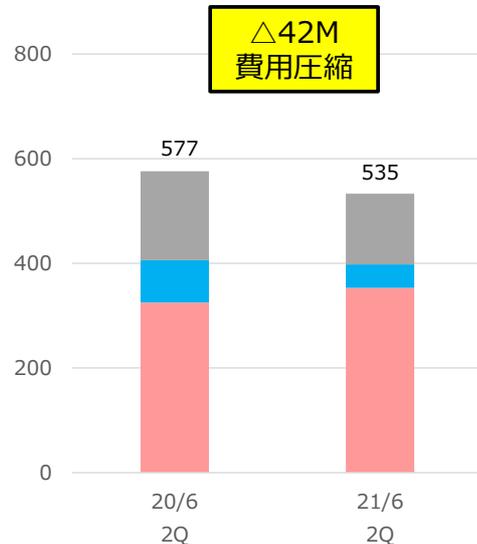


セグメント費用

- 営業効率化の取組み
- 一般管理費コスト削減の取組み

	2020.6 2Q	2021.6 2Q	増減額
メタボロミクス事業	325	353	28
バイオマーカー事業	81	45	△ 36
全社共通	170	135	△ 35
合計	577	535	△ 42

■ メタボロミクス事業 ■ バイオマーカー事業 ■ 全社共通



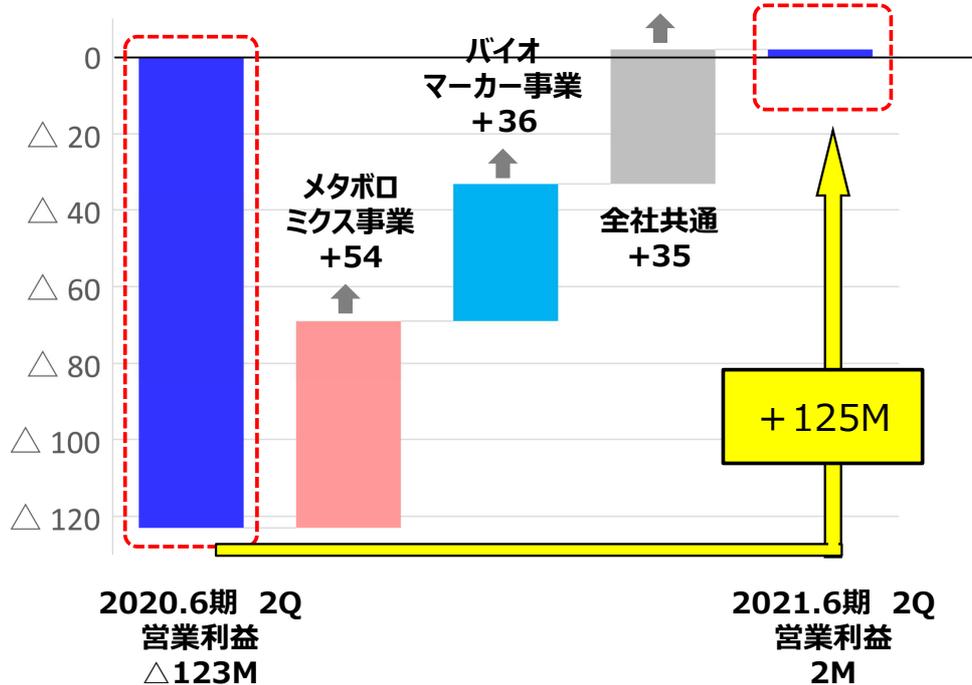
© Human Metabolome Technologies, Inc.

6

営業利益

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

➤ 売上増加と一般管理費圧縮により、営業損失が縮小



© Human Metabolome Technologies, Inc.

主要なバイオマーカー開発状況まとめ

バイオマーカー事業

メンタルヘルス

- 精神状態の評価指標の開発としてマルチマーカー（複数因子）への取組み。
- 予防・モニタリングに焦点を当てた開発を継続。
- 複数大学との共同研究継続。

軽度認知症マーカー等

- 弊社共同研究講座「メタボロミクスイノベーション学」（弘前大学）での研究開発。
- 社会実装に向けた開発を継続。

糖尿病性腎症

- 国内大学との共同研究を実施中。（当社保有マーカーの検証の継続）

バイオマーカー探索研究支援

- PEA研究検査受託において、測定費用の削減への取組みを実施。
- エクソソーム関連分野の研究ツール（試薬・受託等）開発。

参考資料

HMT

9

2021年6月期 連結業績予算



売上高増加

- ・新たな解析メニューの拡充、グローバルでの営業体制の強化等に取り組む
- ・COVID-19の影響は、測定試料の遅延等のマイナス要素があるものの、プラス要素（研究活動の活発化）も考えられ、現時点では軽微

黒字化

- ・研究開発は緩めることなく継続していく。
- ・解析の稼働率を上げ生産性向上と適切なコストコントロールにより黒字化を目指す

(単位：百万円)

	予算 2021年6月期	(ご参考) 前期 2020年6月期	差額
	金額	金額	金額
売上高	1,200	1,118	+82
営業利益	20	△17	+37
経常利益	35	△16	+51
親会社株主に帰属する当期純利益	10	△47	+57
一株当たり当期純利益	1円69銭	△8円15銭	-



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,480百万円

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）
菅野 隆二（取締役会長）

創業者：富田 勝 慶大教授

曾我 朋義 慶大教授

主な事業内容：メタボロミクス事業
バイオマーカー事業

売上高（直近）：1,118百万円

従業員数（連結）：78名（博士：22名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2

東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTバイオメディカル株式会社 横浜市

HMTアメリカ アメリカボストン

HMTヨーロッパ オランダライデン

(2020年6月末現在)

予防医療、個別化医療 への貢献



中長期的拡大戦略
成長エンジン

バイオマーカー事業

革新的な検査技術・
診断技術を創出

収益を投資

短期的利益エンジン

メタボロミクス事業

先端的なメタボローム解析技術と
バイオマーカー探索技術を確立

メタボロミクス事業

代謝成分の網羅解析技術を用いて、顧客（製薬企業等の研究部門や大学等の研究機関）の研究開発を支援します。



バイオマーカー事業

新規のバイオマーカーの探索研究を行い、新しい診断技術の開発、試薬・機器の製造販売を行います。

収益構造	<ul style="list-style-type: none"> ・受託試験 ・共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査受託、試薬販売 ・ライセンス ・ロイヤリティ
収益時期	短期的	長期的
顧客	製薬企業、食品会社、 大学、研究機関など	研究機関、検査機関、 病院、各種民間企業 など

本資料に含まれる将来の見通し等に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後のマクロ経済動向、市場環境や当社の属するライフサイエンス業界の動向、当社の研究開発の進捗、その他内部及び外部要因により変動することがあります。

そのため、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通し等に関する記述と異なるリスクがあることを予めご了承ください。